



牧中だより

平成29年11月8日

高岡市立牧野中学校

第5号

校長室のとびら

— 富一サッカー部 感謝の気持ちを大切に! —



食欲の秋、読書の秋、勉学の秋、スポーツの秋を迎えています。

スポーツの秋といえば、先日、富山第一高校が全国高校サッカー選手権大会への出場を決めました。県大会決勝では、最大のライバル水橋高校を3-0で破り、3年連続の優勝を果たしました。決勝戦をテレビで生中継していた放送で、チームとして大切にしたい9つの言葉を優先順位の高い順番に並べた“ダイヤモンドランキング”が紹介されていました。今年のチームがランキングの最上位に掲げた言葉は、4年前全国制覇を成し遂げた時と同じ『感謝』でした。ちなみに『勝つ』は最下位の9番目でした。勝敗は結果としてついてくるものということなのでしょうか。

保護者の方々もまだ記憶にあると思いますが、富山県勢初の全国制覇はあまりにも劇的な快挙でした。快挙から一ヶ月余りが過ぎても、キャプテンで監督の息子でもある大塚翔選手がPKを蹴る場面を祈るように見ている監督の姿が、感動的で脳裏に焼き付いていました。気持ちを抑えきれない私は無謀にも面識もない大塚監督を訪ねました。当時勤務していた小学校の6年生に、卒業の思い出として監督の思いを聞かせたいとお願いしたかったのです。驚くことに、テレビ出演等で“ひっぱりだこ”の最中(2月下旬)、6年生教室で子供たちのためだけの出前授業が実現したのです。この日、出前授業を終えた校長室で監督にお願いしたことがあります。子供たちへのメッセージです。その時のメッセージが『しなやかで、人を助けることのできる人になってほしい。』でした。「しなやか」とは、竹のように力が加わっても元に戻る強さのことで、「しなやか」になるためには、失敗や敗北など負の経験が大切だと話してくださいました。失敗に気付くことや同じ失敗を繰り返さないように努めることは大切ですが、失敗そのものを避けている人は強くなれないのです。また、監督自身が一番大切にしている言葉は『リスペクト』だそうです。相手に尊敬の気持ち(敬意)をもって接するという事です。監督の思いがチーム全体に浸透しているからこそ、『感謝』をチームの柱に掲げて選手たちは試合に臨んでいるのだと思います。得点を挙げた選手が真っ先に向かう先は、必ずスタンドで声援を送るチームメイトのところですよ。『苦しいときには、スタンドで応援している3年生部員を見ろ。必ず力をくれるから。』140名を超える部員全員を息子と言い切る大塚監督ならではの声かけです。

本校でも『目標に向かって努力を続けるしなやかな強さと他を思いやるやさしさをもつ生徒の育成』を学校運営の重点目標として掲げています。牧中生諸君には、「強さ」と「やさしさ」を基盤にして、これからの激動の時代を自分を見失わず、仲間と協力してたくましく生きてほしいと願っています。



チューリップの球根を植えました

11月6日(月)の放課後、生徒会執行部や美化委員が中心になって、花壇やプランターに、全部で約200個のチューリップの球根を植えました。

来年の春には、きっと美しい花を咲かせてくれることでしょう。楽しみですね。



第3回ノーメディア・チャレンジ・ウィークを終えて

10月12日(木)～10月19日(木)に実施されたノーメディア・チャレンジ・ウィークの取組の結果をお知らせします。

○どのコースにチャレンジしたのでしょうか。(%)

コース	内 容	1年	2年	3年
1	食事(夕食)の時だけノーメディア	28%	27%	27%
2	メディア1日1時間まで	15%	19%	30%
3	メディア1日2時間まで	46%	39%	55%
4	学校から帰った後、ノーメディア	3%	10%	9%
5	朝から寝るまでノーメディア	2%	2%	3%
6	その他	7%	4%	2%

○ 家庭でチャレンジすることができましたか。(%)

チャレンジの結果	1年	2年	3年
できた	43%	19%	42%
まあまあできた	39%	60%	39%
あまりできなかった	16%	17%	10%
できなかった	2%	4%	9%

今回、「できた」「まあまあできた」と答えた家庭は、全学年とも2回目よりも低い結果になりました(前回:1年生89%、2年生83%、3年生84%)。これはノーメディア・チャレンジ・ウィーク期間と学習発表会が重なったため、なかなか学習に集中できなかった結果ではないでしょうか。

11月からは、大きな行事が終わって落ち着いて学習に取り組める時期でもあります。次回のノーメディア・チャレンジ・ウィークは11月22日(水)から始まり、期末考査は11月29日からです。改めて、家庭での学習状況を振り返り、目標をもって取り組みましょう。

生徒のコメントより

- ・今回は前より勉強量がアップして、要点などをまとめて効率よく進めることができたのでよかったです。次は9教科になるので、もっと集中して取り組むことが出来たらいいと思います。(1年)
- ・今のままではメディアをやり過ぎているので、次からはコース4やコース5に挑戦したいと思います。(1年)
- ・学習発表会があって、勉強する時間が限られていたけど、なるべく少しの時間でも努力しようと思ひ頑張りました。(2年)
- ・夜遅くまで勉強することが多かったので、次のテストはしっかり寝て、もっと効率よく勉強したいと思った。(2年)
- ・計画的に課題を終わらせられました。休日が1回しかなかったのに、しっかり勉強時間を見つけて学習できたと思います。(3年)
- ・しっかりとノーメディアを意識することによって、(世間の)情報元は新聞などになり、活字を見る機会が増えた。また、勉強時間も増えて、効率よくできた。(3年)

保護者から

- ・子どもには「ゲームは時間を決めてやりなさい!」とよく言っていますが、自分もやるのはなかなか大変だと、毎回気付かされます。子どもと一緒に、大人も気を付けたいと思います。(1年)
- ・テスト期間中は本当にノーメディアでもいっくらいだと思いますが、なかなかテレビやスマホを見る時間を少なくできないので、コース4ができるようになればいいと思います。(1年)
- ・時間を決めて、計画的に取り組んでいたと思う。課題以外の学習もできたらよいと思う。(2年)
- ・メディアとのつきあい方は、自分でコントロールできるようになったと思います。学習時間を増やせるように、次回のテストでは頑張っほしいです。(2年)
- ・ノーメディアの難しさを改めて感じた。家族のテレビの音などで勉強の妨げになっているのでは…と考えさせられました。受験生なので、気をつかう大切さを実感した。(3年)
- ・今はテスト前だからということだけでなく、毎日、自分で目標をもって、しっかり勉強をしてもらいたいです。(3年)